

精神科領域専門医研修プログラム

■ 専門研修プログラム名： 福岡大学 精神科専門医 研修プログラム

■ プログラム担当者氏名： 吉良 健太郎

住 所： 〒814-0180 福岡市城南区七隈7丁目45-1

電話番号： 092 - 801 - 1011

F A X： 092 - 863 - 3150

E-mail： kntrkira@gmail.com

■ 専攻医の募集人数：(12) 人

■ 応募方法：

履歴書を下記宛先に送付の上、面接の申し込みを行う。

宛先：〒814-0180

福岡県福岡市城南区七隈7丁目45-1 医学部情報センター6階 精神神経科医局

吉良健太郎

電話：092-801-1011

FAX：092-863-3150

■ 採用判定方法：

診療部長・医局長が履歴書記載内容と面接結果に基づき厳正な審査を行い、採用の適否を判断する。

I 専門研修の理念と使命

1. 専門研修プログラムの理念（全プログラム共通項目）

精神科領域専門医制度は、精神医学および精神科医療の進歩に応じて、精神科医の態度・技能・知識を高め、すぐれた精神科専門医を育成し、生涯にわたる相互研鑽を図ることにより精神科医療、精神保健の向上と社会福祉に貢献し、もって国民の信頼にこたえることを理念とする。

2. 使命（全プログラム共通項目）

患者の人権を尊重し、精神・身体・社会・倫理の各面を総合的に考慮して診断・治療する態度を涵養し、近接領域の診療科や医療スタッフと協力して、国民に良質で安全で安心できる精神医療を提供することを使命とする。

3. 専門研修プログラムの特徴

本プログラムでは生物 - 心理 - 社会的な幅広い知識とバランスの取れた技能や態度を獲得し、精神科専門医の資格を取得することを目標とする。

1 年目は基幹施設である福岡大学病院にて病棟入院患者を受け持ち、精神疾患の診断や治療計画、精神療法や薬物療法、デイケアでの社会復帰プログラムといった精神医学全般を学ぶ。2 年目は精神科救急を行っている施設をローテートし、精神療法や薬物療法についてさらに理解を深め、外来と病棟を担当し、精神科診療を全般的に研修する。措置入院症例や依存症症例といった資格の取得に必要な症例を多く経験することを目指す。3 年目には地域の単科精神科病院などをローテートし、医療チームの一員として研修を行う。臨床経験を重ね、診療の責任者としての自覚を養う。また学会、研究会などで発表する機会をもつ。専攻医は年 8-12 名程度を予定している。

連携施設には福岡県内を中心に多数の医療機関が属している。精神科救急を行っている施設から、往診や訪問看護など退院後のサポートに焦点をあてた施設まで様々である。専攻医はこれらの施設を 1 年単位でローテートしながら経験を積み、精神科専門医として必要な態度・技能・知識を身に着けることが可能である。

II. 専門研修施設群と研修プログラム

1. プログラム全体の指導医数・症例数

- プログラム全体の指導医数：104人
- 昨年一年間のプログラム施設全体の症例数

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	3260	1198
F1	931	522
F2	7256	3878
F3	9302	1981
F4 F50	5219	467
F4 F7 F8 F9 F50	7798	451
F6	424	91
その他	1405	213

2. 連携施設名と各施設の特徴

A 研修基幹施設

- ・施設名：福岡大学病院
- ・施設形態：私立大学病院
- ・院長名：井上 亨
- ・プログラム統括責任者氏名：川寄 弘詔
- ・指導責任者氏名：川寄 弘詔
- ・指導医人数：（7）人
- ・精神科病床数：（60）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	153	18
F1	7	9
F2	77	48
F3	103	53
F4 F50	216	56
F4 F7 F8 F9 F50	52	41
F6	39	1
その他	149	

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

福岡大学病院は915床（うち精神科60床）を有する特定機能病院であり、「あたたかい医療」という基本理念を掲げ、救命救急センターでの3次救急の受け入れや地域のがん診療連携拠点病院としてがん診療など、地域の中核病院として社会のニーズに応えるよう医療活動を行っている。

当教室は伝統的に精神分析的な精神療法などの精神療法を学ぶ環境が充実しており、地域精神医療に根ざした患者中心の臨床精神医療を徹底している。また大学病院における精神神経科の役割を果たすために、身体合併症患者のリエゾンコンサルテーション、緩和ケアチームや認知症疾患医療センターへの参画、救命救急センターと協力した自殺企図者への介入、産婦人科や小児科と協同した周産期母子、小児や児童思春期（虐待児とその家族、発達障害、ADHDなど）への対応といった幅広い治療活動も行っている。

専攻医は病棟医として入院患者を受け持ち、面接の仕方、診断と治療計画の策定、他科と協力関係の作り方などを、指導医から教育を受ける。病棟ではチーム制での診療を行っており、配属されたチーム内で複数の指導医よりアドバイスを受けることが可能である。また当施設のデイケアは全国で初めて認可された大学病院デイケアであり、コメディカルスタッフも多く、多職種でのチーム医療を実践している。デイケアでは統合失調症や発達障害などを中心とした社会復帰プログラムを行っている。週に1回はデイケアプログラムにも参加し、退院後の経過といった継続的な医療について学ぶ機会も設けている。

当施設では大学という研究機関でもあるため、研究や学会発表についても指導を受けることが可能であり、病棟での上級医のほかに、臨床以外でも相談ができる担当者をそれぞれの専攻医に配置している。学会等での発表や雑

誌への投稿も定期的に行っており、希望者は大学院への進学も可能である。各々の興味のある臨床分野や研究分野があれば、より重点的にその領域に関わることが出来る。

B 研修連携施設

①施設名：医療法人 汎江堂 油山病院

- ・施設形態：私的精神科病院
- ・院長名：三野原 義光
- ・指導責任者氏名：三野原 義光
- ・指導医人数：（ 7 ） 人
- ・精神科病床数：（ 238 ） 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	77	109
F1	6	6
F2	412	289
F3	268	124
F4 F50	146	49
F4 F7 F8 F9 F50	13	17
F6	3	2
その他	0	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

精神科急性期治療病棟（60 床）における急性期医療を経験することが可能である。また、外来部門では精神科デイケア（デイ、デイ・ナイト、ナイト、ショート）における統合失調症をはじめ、気分障害デイケア、リワークの治療活動の経験、もの忘れ外来での認知症治療の経験を積むことができる。

②施設名：医療法人祥風会 甘木病院

- ・施設形態：私的精神科病院
- ・院長名：高良 由貴夫
- ・指導責任者氏名：高良 由貴夫
- ・指導医人数：(2) 人
- ・精神科病床数：(160) 床
- ・疾患別入院数・外来数 (年間)

疾患	外来患者数 (年間)	入院患者数 (年間)
F0	28	25
F1	0	3
F2	46	53
F3	220	41
F4 F50	98	22
F4 F7 F8 F9 F50	160	3
F6	0	0
その他	99	2

- ・施設としての特徴 (扱う疾患の特徴等)

医療人として全人的医療を学ぶ。その基本は治療者—患者関係であり、特に力動的理解を持ち其々の症例を通し実践していくことである。

特に当病院の地理的状況から、全ての疾患を担当することは困難である。しかし、器質性精神障害、統合失調症、感情障害、神経症性障害、パーソナリティ障害など F0～F8 までの症例は経験することができる。

③施設名：医療法人社団豊永会 飯塚記念病院

- ・施設形態：私的精神科病院
- ・院長名：豊永 武一郎
- ・指導責任者氏名：小ヶ倉 雅昭

- ・指導医人数：(8) 人
- ・精神科病床数：(400) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	208	110
F1	35	23
F2	579	264
F3	972	117
F4 F50	1396	21
F4 F7 F8 F9 F50	1730	45
F6	17	8
その他	30	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

平成22年10月より精神科救急入院料病棟（48床）をスタートさせました。認知症治療病棟、精神科療養病棟、身体合併症病棟など病棟も機能分化されており、外来、デイケア（大規模）、訪問看護などにも力を入れています。平成23年1月に修正型電気けいれん療法を導入、平成23年7月には精神科救急病棟を60床へ増床。平成26年12月より認知症医療センターを取得。認知症の診断・治療・マネジメントなど積極的に行っています。また平成27年1月より難治統合失調症の治療薬クロザピン治療を開始しています。内科専門医が常勤医で勤務しているため、身体合併症の症例にも対応できます。当院は医療観察法の通院医療機関であり、法にのる前の鑑定入院を受け入れています。地域移行を進めていく方針から、平成28年4月に新しくグループホームを新設し、退院支援を進めていきます。平成26年4月から平成27年3月までの、措置入院、応急入院の件数は31件でした。筑豊ブロックの措置件数80%以上を例年受け入れています。精神科救急入院料病棟では非自発的入院が6割以上という条件があるため、精神保健指定医や精神科専門医を目指す医師に必要な症例が集まります。当院の実績としては、平成22年度2人、平成23年度1人、平成25年度1人が精神保健指定医を取得しております。また、平成27年に精神科専門医を1人取得。なお、常勤の医師は14人、精神科専門医指導医

は10人(うち5名は予定)、精神保健指定医は12名勤務しております。

また、当院はサテライトクリニック「心のクリニック・飯塚」が近くにある「子どもセンター」では、こころの心療部と連携しており、児童専門の医師が週2～3日勤務。児童思春期の治療や、カウンセリングを中心に感覚統合療法や発達段階に応じたデイケアでの集団療法など行っています。児童思春期に興味をお持ちの方は病院勤務とともに週1日子どもセンターでの勤務を通して学ぶことも可能です。

④施設名：医療法人有隣会 伊敷病院

- ・施設形態：私的精神科病院
- ・院長名：植村 健吾
- ・指導責任者氏名：八木 義人
- ・指導医人数：(4) 人
- ・精神科病床数：(210) 床
- ・疾患別入院数・外来数 (年間)

疾患	外来患者数 (年間)	入院患者数 (年間)
F0	180	77
F1	37	10
F2	895	310
F3	825	137
F4 F50	10	46
F4 F7 F8 F9 F50	1373	60
F6	113	22
その他		

- ・施設としての特徴 (扱う疾患の特徴等)

当院はゆるやかな主治医制のもと指導医責任のもとで研修医の先生の自由な診療を確保し、研修医の先生の個人の資質の開花に大きく寄与できるのびやかなシステムになっております。

当院は伝統的に精神分析的対話精神療法を得意としており、指導医の診療の陪席や個人スーパーヴィジョンはもちろんのこと、先生が望まれるなら先生の診療に指導医が陪席し、後にディスカッションすることも可能です。また、近年では脳ドックによる認知症の早期発見から BPSD への対応、地域への貢献含め、認知症全般に関して診療が日々充実、向上しております。

⑤施設名：いぬお病院

- ・施設形態：私的精神科病院
- ・院長名：犬尾 明文
- ・指導責任者氏名：犬尾 明文
- ・指導医人数：（ 2 ）人
- ・精神科病床数：（ 156 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	0	0
F1	0	1
F2	318	138
F3	1052	143
F4 F50	611	21
F4 F7 F8 F9 F50	2	1
F6	7	0
その他	0	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は156床を有する私立単科精神科病院である。主に気分障害（F3）、神経症性障害（F4）、統合失調症（F2）などの治療にあたっている。早期退院に向けての支援に取り組み、デイケア、訪問看護なども行っております。

⑥施設名：医療法人慶友会 西海病院

- ・施設形態：私的精神科病院

- ・ 院長名：逸見 嘉之介
- ・ 指導責任者氏名：逸見 嘉之介
- ・ 指導医人数：（ 6 ） 人
- ・ 精神科病床数：（ 300 ） 床
- ・ 疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	97	37
F1	25	16
F2	413	223
F3	432	105
F4 F50	278	40
F4 F7 F8 F9 F50	4	0
F6	16	9
その他	8	0

- ・ 施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

最近はうつ病などの感情障害、ストレス障害など神経症圏内の新規入院が半分以上を占めています。また地域医療のニーズとして認知症の BPSD の治療にも積極的に取り組んでいます。またデイケア、訪問看護、グループホームなどによる地域医療に特に力を入れており、相談支援事業所など福祉施設の運営も行っており、さらに市の精神保健相談や啓蒙を目的とした地域活動も積極的に行っています。当院は長崎の県北地区の中核病院であり、措置入院を含めた救急入院数も多く、指定医のケースを充分数そろえることが可能です。当院には現在、医師 8 名（うち指定医 7 名、専門医 7 名および専門医指導医が 6 名）おり、これら上級医師が生物、心理、社会的アプローチについて助言したり、適時相談に乗ることができます。また定期的なコンサルテーションも受けられます。もちろん学会や研修会などへの参加も積極的にできるように充分配慮しています。

- ⑦施設名：自由が丘病院（症例数、週間・年間スケジュール）

- ・施設形態：私的精神科病院
- ・院長名：平原 信雄
- ・指導責任者氏名：松嶋 圭
- ・指導医人数：（ 2 ） 人
- ・精神科病床数：（ 135 ） 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	1675	138
F1	48	7
F2	1208	20
F3	1507	43
F4 F50	14	0
F4 F7 F8 F9 F50	1425	12
F6	8	2
その他	47	2

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

外来は児童から老年期まで幅広く、予約無しで随時受診を引き受けている（原則断らない）。入院患者は高齢者が多く、隣接する特養、老健、ケアハウスと連携して社会復帰へ繋げている。

⑧施設名：施設名：不知火病院

- ・施設形態：私的精神科病院
- ・院長名：徳永 雄一郎
- ・指導責任者氏名：徳永 雄一郎
- ・指導医人数：（ 6 ） 人
- ・精神科病床数：（ 219 ） 床

・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	9	11
F1	3	2
F2	382	189
F3	1,094	410
F4 F50	222	25
F4 F7 F8 F9 F50	14	3
F6	6	1
その他	0	0

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

平成元年に、日本で初めてうつ病専門病棟（ストレス専門病棟）を開設した単科精神科病院である。近年、メンタルヘルスやうつ病への関心が高まっており、今後社会的要請が強まると考えられる。2000年には日本ストレスケア病棟研究会を立ち上げ、院長の徳永が以来会長の職にある。更に、日本の海外進出に伴い2008年より、日本人勤労者を対象として、中国上海市でも診療に当たっている。

外来治療においては、従来型の統合失調症の地域化にともなうデイケアに加え、勤労者うつ病を対象とした復職支援プログラムを入院外来共に実施している。このような状況のため、外来新患の約8割がうつ病圏となっている。

教育にも力を注いでおり、上級医師によるコンサルタントの他、各職種共に学会での発表を重視している。ちなみに平均の学会発表数は医師、看護も約20～30題となっている。うつ病を中心とした海の病棟は、精神科急性期治療病棟であり、平成26年7月より医師配置加算を算定している。

統合失調症は長期入院の慢性期、初発の急性期症例等多数ある。医療保護入院などの非自発入院や行動制限を必要とする症例も多い。

地域支援サービスを病院を中心として展開され積極的に退院支援、地域連携活動を行っており、地域社会と密着した精神医療を実践している。

精神科医としての基本的な素養をもとにし、一人の精神科医として外来・入院から退院、さらに退院後の生活支援に至るまで責任を持って対応するための能力を身につけることができる。

併設施設等：精神急性期治療病棟、精神療養病棟、精神科作業療法
 精神科デイケア・デイナイトケア・ショートケア、就労
 支援（リワーク）
 共同住居、精神科救急輪番

⑨施設名：白石保養院

- ・施設形態：私的精神科病院
- ・院長名：道塩 和久
- ・指導責任者氏名：道塩 和久
- ・指導医人数：（ 2 ）人
- ・精神科病床数：（ 248 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	50	21
F1	8	5
F2	135	41
F3	138	38
F4 F50	90	1
F4 F7 F8 F9 F50	15	1
F6	12	3
その他	21	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

地方における精神科医療の中核を担っており、精神疾患の急性期から慢性期の幅広い領域をカバーしている。非自発入院の症例もあり、佐賀県精神科救急システムの輪番制にも登録している。それほど多くはないが行動制限や精神科救急も学ぶ機会がある。

指導責任者は10年来佐賀県精神保健福祉センターの思春期外来の嘱託をしており、地方の単科精神科病院としては症例数もあり、臨床心理士と連携

しながらの診療を学ぶ事が出来る。

入院医療においては精神科作業療法を積極的に行っている。退院に向けての院内デイケアを導入し、退院後のデイケア・訪問看護など入院から退院まで、更には関連するグループホーム入所・作業所通所などの地域連携の現場を学ぶ事が出来る。

⑩施設名：医療法人格心会晴明病院

- ・施設形態：私的精神科病院
- ・院長名：島田 文雄
- ・指導責任者氏名：島田 文雄
- ・指導医人数：（ 3 ）人
- ・精神科病床数：（ 148 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	21	28
F1	18	8
F2	172	143
F3	237	47
F4 F50	229	27
F4 F7 F8 F9 F50	1	1
F6	11	3
その他	17	4

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

福岡市城南区にある唯一の精神科専門病院として地域医療に取り組んでいる。そのため、幅広い疾患、病態が経験できる。措置入院もあり、デイケア、訪問看護も行っている。

交通の便がよいためか、外来では適応障害やうつ病の患者が増えてきている。

⑪施設名：医療法人恵和会 田川慈恵病院

- ・施設形態：私的精神科病院
- ・院長名：重松 真理子
- ・指導責任者氏名：重松 真理子
- ・指導医人数：（ 1 ）人
- ・精神科病床数：（ 195 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	78	274
F1	10	8
F2	58	83
F3	45	24
F4 F50	37	6
F4 F7 F8 F9 F50	42	10
F6	2	4
その他	13	9

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

地方の単科精神科病院であり、介護老人保健施設を病院の隣に併設している。また、近隣の施設に往診に行く等、地域に密着した医療を提供している。

入院医療では、認知症の周辺症状による入院や身体合併症を伴う精神疾患による入院も多い。また、精神科救急輪番も行い、措置入院、医療保護入院などの非自発的入院や行動制限を必要とする症例も受け入れている。外来医療では若年から高齢者まで幅広い疾患に対応している。

治療においては、精神療法、心理教育、家族面談などを積極的に行い、外来から入院、退院、さらに退院後の生活支援や再発予防に至るまでを一連の治療として責任を持って行う。

⑫施設名：福岡県立精神医療センター太宰府病院

- ・施設形態：公的病院
- ・院長名：小嶋 享二
- ・指導責任者氏名：重松 淳哉
- ・指導医人数：（ 4 ） 人
- ・精神科病床数：（ 300 ） 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間 / H27 年度）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	123	45
F1	284	77
F2	779	284
F3	659	203
F4	349	76
F5	18	4
F6	18	11
F7	77	27
F8	60	10
F9	20	1
その他(G40)	87	2

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

救急・急性期の治療に力を入れており、24 時間・365 日体制で臨んでいる。クロザピンの処方やmECTも実施しており、早期の退院・社会復帰を目指している。依存症（アルコール・薬物）の治療も行っており、多くの多様な患者が受診してきて豊富な経験を積むことができる。

⑬施設名：たろうクリニック

- ・施設形態：私的診療所

- ・ 院長名：内田 直樹
- ・ 指導責任者氏名：内田 直樹
- ・ 指導医人数：(2) 人 内田 直樹、浦島 創
- ・ 精神科病床数：(0) 床
- ・ 疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	100	
F1		
F2		
F3		
F4 F50		
F4 F7 F8 F9 F50		
F6		
その他		

- ・ 施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

訪問診療と重度認知症デイケアを行っている。訪問診療は福岡市を中心に500名程の患者を診療しており、その約8割が認知症をかかえている。認知症以外にも、統合失調症や双極性障害、不安障害、アルコール依存症などの症例に訪問診療を行っている。

⑭施設名：天神心療クリニック

- ・ 施設形態：診療所
- ・ 院長名：山田 尚吾
- ・ 指導責任者氏名：山田 尚吾
- ・ 指導医人数：(1) 人
- ・ 精神科病床数：(0) 床
- ・ 疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	38	0
F1	17	0
F2	95	0
F3	456	0
F4 F50	368	0
F4 F7 F8 F9 F50	27	0
F6	45	0
その他	50	0

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

都市型の精神科診療所であり、デイケアを併設している。個人精神療法に加えて集団認知行動療法による精神療法を行っている。気分障害圏の患者を中心に不安障害・ストレス関連性障害の患者を多く診療している。

⑮施設名：医療法人悠志会 パークサイドこころの発達クリニック

- ・施設形態：診療所
- ・院長名：原田剛志
- ・指導責任者氏名：原田剛志
- ・指導医人数：（ 1 ）人
- ・精神科病床数：（ 0 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）1284

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	1	0
F1	0	0
F2	3	0
F3	20	0

F4 F50	116	0
F4 F7 F8 F9 F50	650	0
F6	3	0
その他	0	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）
発達障害専門のクリニックです

⑩施設名：医療法人日明会 日明病院

- ・施設形態：私的精神科病院
- ・院長名：北原 潤一
- ・指導責任者氏名：永井 宏
- ・指導医人数：（ 2 ） 人
- ・精神科病床数：（ 320 ） 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	14	15
F1	7	6
F2	156	118
F3	82	27
F4 F50	23	2
F4 F7 F8 F9 F50	7	6
F6	1	1
その他	0	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

昭和5年設立の85年に及ぶ長い歴史と、市内の中心地に立地する都市型環境が特徴。精神科作業療法の充実、デイ・ケア、デイ・ナイト・ケアの実施、老人保健施設「寿楽苑」の併設、訪問看護等、都市型の精神医療に取り

組んでいる。統合失調症・気分障害・認知症をはじめ様々な症例を指導医の丁寧な指導のもと幅広く経験することができる。

⑰施設名：肥前精神医療センター

- ・施設形態：公的病院 独立行政法人国立病院機構
- ・院長名：杠 岳文
- ・指導責任者氏名：福山 順子
- ・指導医人数：(17) 人
- ・精神科病床数：(404) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	233	123
F1	581	319
F2	697	477
F3	526	176
F4 F50	604	41
F4 F7 F8 F9 F50	1407	101
F6	109	20
その他	678	190

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

脊振山系が目の前に広がる自然に恵まれた単科精神科病院である。佐賀県唯一の精神科救急病棟を有していることもあり、指定医、専門医の症例は豊富にあり、毎年 20 人以上の専攻医が研鑽を積んでいる。精神科救急病棟を教育研修の中心の場とし、精神科リハビリテーション、地域医療（デイケア、訪問診療）を学ぶことができる。また、こどもの心の診療拠点病院、依存症治療拠点機関、認知症疾患医療センター、医療観察法指定入院・通院医療機関に指定されており、他施設では経験が難しい臨床経験（児童精神医学、嗜癖、司法精神医学、精神鑑定の助手、救急トリアージ、DPAT 研修、CVPPP 研修）も積むことができる。クロザピン、修正型電気けいれ

ん療法の経験もできる。

このように高度専門オールラウンド型病院であり、医師のみならず多職種に選ばれる精神科研修病院である。指導医も多く、九州大学の黒木俊秀教授をはじめとする複数の教育回診、カンファレンス、症例検討会など教育プログラムも豊富に備えている。

⑱施設名：福間病院

- ・施設形態：私的精神科病院
- ・院長名：東 和也
- ・指導責任者氏名：今村 徹
- ・指導医人数：（ 9 ） 人
- ・精神科病床数：（ 500 ） 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	25	19
F1	18	9
F2	169	595
F3	220	140
F4 F50	272	22
F4 F7 F8 F9 F50	65	16
F6	8	3
その他	229	3

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

福間病院は 1955 年に開設された 500 床の民間精神科病院であり、緑豊かな約三万坪の敷地に建物が点在する療養環境を持っている。1975 年には我が国で第一号認可のデイケアセンターを設立した。また、臨床教育にも長年に亘り力を入れていて、1983 年には厚生省（当時）から臨床研修指定病院の承認を受け、臨床研修医の指導を続けてきた。また、2004 年には協力型病院として前期臨床研修（精神科）を開始し、2006 年からは後期臨床研修

を開始し、精神保健指定医を育成してきた。

統合失調症症例では措置入院、医療保護入院などの非自発入院例や行動制限症例が多く、当該症例に関する経験を充分得ることができる。さらに、家族心理教育や社会復帰部門の作業療法、デイケア、デイナイトケアなどが院内に併設されていることから、外来受診から入院治療を経て、社会復帰に至るまでの一連の治療を自ら体験し、精神科医としての能力を涵養することが可能である。

併施設等：応急指定病院、精神科救急輪番、精神救急病棟、精神療養病棟、精神科作業療法、精神科デイケア、精神科デイナイトケア、訪問看護ステーション、就労支援センター、地域活動支援センター・指定相談支援事業所、グループホーム、認知症対応型通所介護施設、居宅介護支援事業所

⑨施設名：医療法人至誠会 帆秋病院

- ・施設形態：精神科病院
- ・院長名：帆秋 伸彦
- ・指導責任者氏名：帆秋 伸彦
- ・指導医人数：（ 6 ）人
- ・精神科病床数：（ 446 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	41	37
F1	24	28
F2	227	89
F3	146	43
F4 F50	110	11
F4 F7 F8 F9 F50	126	14
F6	8	5
その他	14	2

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は 446 床の精神科病院であり、平成 27 年 4 月に移転・新築し、体育館、グループホーム、保育園を併設している。また、100 床の介護老人保健施設を併設している。移転の際に、電子カルテを導入し、3 テスラの MRI、16 列マルチヘリカル CT、脳波計、高照度光療法室、森田療法室などを完備した。

常勤医は 10 名おり、そのうち精神保健指定医は 8 名、内科医が 1 名いる。また、精神保健判定医、日本精神神経学会 専門医・指導医、日本老年精神医学会認定専門医・指導医、日本精神科病院協会認定 指導医、日本医師会認定 産業医、日本医師会認定 健康スポーツ医、日本救急医学会 ICLS インストラクター、日本救急医学会 JATEC プロバイダーが在籍しており、研修指導体制を整えている。また、職員研修として、院内研修会を頻回に開催しており、また外部研修会にも積極的に参加し、各職種の資質向上を図っている。医療連携として、大分大学医学部附属病院、大分中村病院、大分赤十字病院、大分アルメイダ病院等と相互医療の協力体制を整えている。

当院の特徴として、統合失調症、うつ病、躁うつ病、神経症性障害、認知症、アルコール依存症などの診療に力を入れている。アルコール依存症に関しては、久里浜式認知行動療法を行っている（重度アルコール依存症管理加算）。また、内科医と連携し身体合併症治療も行っている（身体合併症管理加算）。措置入院や応急入院の受け入れも積極的に行っている。毎朝、多職種によるミーティングやカンファレンスにて症例検討を行っている。

⑳施設名：医療法人恵愛会 防府保養院

- ・施設形態：私的精神科病院
- ・院長名：國本 泰男
- ・指導責任者氏名：國本 泰男
- ・指導医人数：（ 2 ） 人
- ・精神科病床数：（ 100 ） 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	14	8
F1	2	3
F2	135	99
F3	86	19

F4 F50	27	5
F4 F7 F8 F9 F50	7	2
F6	1	0
その他	19	0

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

100床と小規模の単科精神科病院のため地域の医療機関、施設、行政機関、事業所等と連携し小回りの利く医療を行っている。入院外来ともに精神科クリニック、総合病院精神科等で対応困難となった症例等中等症以上の症例が比較的多い。新患数は少ないが長期にわたり継続し治療を行っている比率が高く安定した治療関係を保っていると言える。疾患は統合失調症を中心とした症例が多いものの近年はうつ病関連、高齢者の精神障害が増加している。デイケア、訪問看護の利用も増加傾向にある。

②施設名：松尾病院

- ・施設形態：私的精神科病院
- ・院長名：松尾 典夫
- ・指導責任者氏名：松尾 典夫
- ・指導医人数：（ 2 ）人
- ・精神科病床数：（ 332 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	19	12
F1	69	50
F2	67	112
F3	67	58
F4 F50	106	14
F4 F7 F8 F9 F50	138	15
F6	2	3

その他		
-----	--	--

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）
 - ・認知症をあまり扱っていない
 - ・アルコール依存症の患者が増えつつある。
 - ・問題飲酒者に対する減酒治療を開始している。
 - ・統合失調症慢性期のリハビリに力を入れている。
 - ・治療抵抗性統合失調症に対しクロザリル治療を行っている。

②施設名：医療法人社団緑風会 水戸病院

- ・施設形態：私的精神科病院
- ・院長名：田中 謙太郎
- ・指導責任者氏名：田中 謙太郎
- ・指導医人数：（ 3 ） 人
- ・精神科病床数：（ 200 ） 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	172	113
F1	8	7
F2	355	210
F3	415	130
F4 F50	237	57
F4 F7 F8 F9 F50	315	76
F6	6	1
その他		

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は「認知症医療センター」の認可を受けており、認知症に関しては疾患の特徴から地域とのかかわりまで、すべての分野の研修を受けることができる。

また、救急システムも2回／月の頻度で参加しており、措置入院症例も経

験することができる。

②③施設名：医療法人 慈光会 若久病院

- ・施設形態：私的精神科病院
- ・院長名：野見山 晃
- ・指導責任者氏名：野見山 晃
- ・指導医人数：（ 5 ） 人
- ・精神科病床数：（ 370 ） 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	27	23
F1	8	2
F2	657	377
F3	391	106
F4 F50	9	1
F4 F7 F8 F9 F50	225	27
F6	7	3
その他	31	1

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は薬物療法のみならず、精神療法、行動療法、音楽療法、SST等の経験と実績を積重ねてきた。更に歴史的に作業療法、デイ・ケア等、精神科リハビリテーションに力を注いで来た。また、精神保健福祉士による、社会資源の活用等、患者さんの安定した、生活を維持していく営みを続けている。従って、外来治療、入院治療、そしてリハビリテーション、退院後の外来治療、訪問看護と一連の流れの中で精神医学そして、精神科臨床を学べる場であると自負している。加えて、臨床を大切にする医師が多いこと、指導医の多いこと、医師同士の距離が近いこともあって、臨床や精神医学に関する議論、批判が日常的に行われ、自然にその輪に入れる雰囲気がある。

3. 研修プログラム

1) 年次到達目標

専攻医は精神科領域専門医制度の研修手帳に従って専門知識を習得する。

1年次：大学病院における研修

基幹施設である大学病院にて研修を行う。統合失調症、気分障害、器質性精神障害などの代表的な精神疾患患者を受け持つと同時に特定機能病院ならではのリエゾン症例である合併症患者、緩和ケア、認知症疾患医療センター、救命救急センターと協力した自殺企図者への介入、産婦人科や小児科と協同した周産期母子、小児や児童思春期（虐待児とその家族、発達障害、ADHD など）を多数経験する。そういった中で面接の仕方、診断と治療計画の策定、他科と協力関係の作り方などを、指導医から教育を受ける。

2年次：研修連携施設における研修（精神科救急）

1年次の研修を基礎に、連携施設において医療チームの一員として研修を行う。指導医のもと、精神療法や薬物療法についてさらに理解を深め、外来と病棟を担当し、精神科診療を全般的に研修する。資格取得に必要な症例を多く経験することを目指す。措置入院症例や依存症症例など、大学では症例の少ない分野を学ぶ。希望者には2年次より研修連携施設において地域医療などを学ぶことが出来るプログラムも準備している。

3年次：研修連携施設における研修

（単科精神科病院、精神科クリニック、行政機関など）

病棟・外来・デイケアにおいて医療チームの一員として研修を行う。デイケアや退院後の社会復帰など、継続したサポートを学ぶ。病棟では難治症例などを受け持ち、臨床経験を重ね、診療の責任者としての自覚を養う。基幹病院においては医学部学生や臨床研修医の指導にあたり、さらなる研鑽を積む。また学会、研究会などで発表する機会をもつ。希望者には大学院への進学も可能であるプログラムを準備している。

2) 研修カリキュラムについて

研修カリキュラムは、「専攻医研修マニュアル」（別紙）、「研修記録簿」（別紙）を参照。

3) 個別項目について

① 倫理性・社会性

リエゾンコンサルテーション、緩和ケアチーム、移植医療への対応といった他科との連携を持つことによって、倫理性・社会性について学ぶ機会を得ることができる。

② 学問的姿勢

精神医学および精神科医療の進歩に応じて、常に自己を研鑽していくことが求められる。各施設で行われる症例検討会や研究会で参加・発表を行い、そのなかで興味をもった症例や対応に苦慮した症例などについて文献的な調査を行い、理解をさらに深めるように心がける。また学会等での発表や雑誌への投稿も行っていく。希望者は大学院への進学も可能である。

③ コアコンピテンシーの習得

患者・家族へ共感する能力、他職種と協力してチーム医療を実践する能力、エビデンスに基づいた医療を行う能力、自学自習により自己研鑽できる能力、医師としての高い倫理性、を備えた精神科領域専門医を目指す。

④ 学術活動（学会発表、論文の執筆等）

基幹施設や連携施設において臨床研究、基礎研究に従事し、学会および論文として発表する。基幹施設である福岡大学病院では、臨床以外での学術活動の相談ができる上級医をそれぞれの専攻医に配置している。

⑤ 自己学習

日々進歩していく精神医学・精神科医療に応じて技能・知識を高めるため、自ら研鑽に励む態度を養う。情報収集、論文検索など、基幹病院である福岡大学病院では図書館やインターネットといった自己学習の環境は充実している。

4) ローテーションモデル

1年目は基幹施設である福岡大学病院にてローテートを行い、精神医学全般について研修を行う。2年目には精神科救急を行っている病院でさらに多くの症例を経験することによって知識と技術を深め、精神保健福祉法や地域で利用できる社会資源などについても学ぶ。3年目は、2年間で学んだことを医療チームの一員として自主的に実践するため、地域の単科精神科病院にて研修を行う。行政（福岡市精神保健福祉センター）や総合病院（筑紫病院、九州医療センター）との連携も予定しており、それぞれの希望に応じて対応が可能である。（別紙参照）

5) 研修の週間・年間計画

別紙2と別紙3を参照。

4. プログラム管理体制について

・プログラム管理委員会

- 委員長 医師 川寄 弘詔
- 医師 尾籠 晃司
- 医師 西村 良二
- 医師 三野原 義光（油山病院）
- 医師 高良 由貴夫（甘木病院）
- 医師 小ヶ倉 雅昭（飯塚記念病院）
- 医師 八木 義人（伊敷病院）
- 医師 犬尾 明文（いぬお病院）
- 医師 逸見 嘉之助（西海病院）
- 医師 松嶋 圭（自由が丘病院）
- 医師 徳永 雄一郎（不知火病院）
- 医師 道塩 和久（白石保養院）
- 医師 島田 文雄（晴明病院）
- 医師 重松 真理子（田川慈恵病院）
- 医師 小嶋 亨二（太宰府病院）
- 医師 内田 直樹（たろうクリニック）
- 医師 山田 尚吾（天神心療クリニック）
- 医師 原田 剛志（パークサイドこころの発達クリニック）
- 医師 永井 宏（日明病院）
- 医師 福山 順子（肥前精神医療センター）
- 医師 今村 徹（福間病院）
- 医師 帆秋 伸彦（帆秋病院）
- 医師 國本 泰男（防府保養院）
- 医師 松尾 典夫（松尾病院）
- 医師 田中 謙太郎（水戸病院）
- 医師 野見山 晃（若久病院）
- 看護師 池田 静子
- 精神保健福祉士 松尾 真裕子

- ・プログラム統括責任者

川寄 弘詔

- ・連携施設における委員会組織

各連携施設の指導責任者および実務担当の指導医によって構成される。

5. 評価について

1) 評価体制

福岡大学病院：川寄 弘詔

油山病院：三野原 義光
甘木病院：高良 由貴夫
飯塚記念病院：小ヶ倉 雅昭
伊敷病院：八木 義人
いぬお病院：犬尾 明文
西海病院：逸見 嘉之助
自由が丘病院：松嶋 圭
不知火病院：徳永 雄一郎
白石保養院：道塩 和久
晴明病院：島田 文雄
田川慈恵病院：重松 真理子
太宰府病院：小嶋 亨二
たろうクリニック：内田 直樹
天神心療クリニック：山田 尚吾
パークサイドこころの発達クリニック：原田 剛志
日明病院：永井 宏
肥前精神医療センター：福山 順子
福間病院：今村 徹
帆秋病院：帆秋 伸彦
防府保養院：國本 泰男
松尾病院：松尾 典夫
水戸病院：田中 謙太郎
若久病院：野見山 晃

(あいうえお順)

2) 評価時期と評価方法

3 か月毎にカリキュラムに基づいたプログラムの進行状況を指導医と専攻医が確認し、その後の研修方法を定め、研修プログラム管理委員会に提出する。

研修目標の達成度を、当該研修施設の指導責任者と専攻医がそれぞれ 6 か月毎に評価し、フィードバックする。

年度末に 1 年間のプログラムの進行状況ならびに研修目標の達成度を指導責任者が確認し、次年度の研修計画を作成する。またその結果を統括責任者に提出する。

その際の専攻医の研修実績および評価には研修記録簿を用いる。

3) 研修時に則るマニュアルについて

「研修記録簿」(別紙)に研修実績を記載し、指導医による形成的評価、フィードバックを受ける。総括的評価は精神科研修カリキュラムに則り、少なくとも年

1 回おこなう。

福岡大学病院にて専攻医の研修履歴（研修施設、期間、担当した専門研修指導医）、研修実績、研修評価を保管する。さらに専攻医による専門研修施設および専門研修プログラムに対する評価も保管する。

プログラム運用マニュアルは以下の専攻医研修マニュアルと指導医マニュアルを用いる。

- 専攻医研修マニュアル（別紙）
- 指導医マニュアル（別紙）

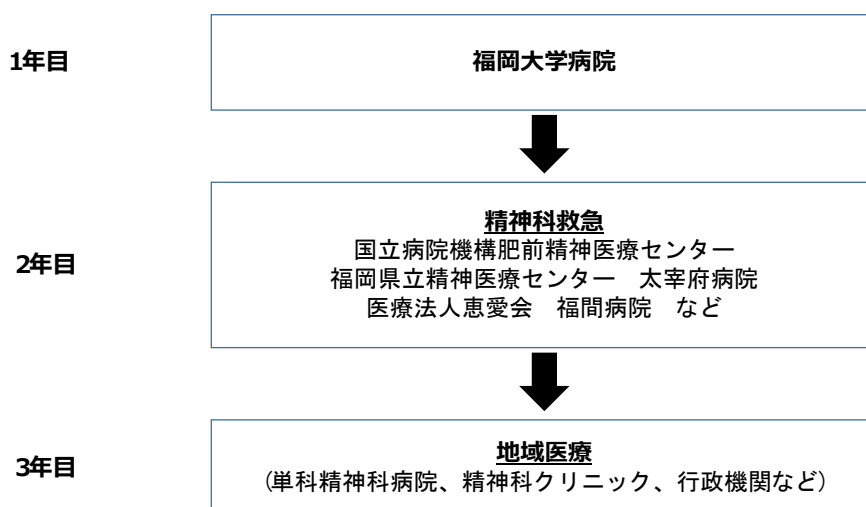
6. 全体の管理運営体制

- 1) 専攻医の就業環境の整備（労務管理）
各施設の労務管理基準に準拠する。
- 2) 専攻医の心身の健康管理
各施設の健康管理基準に準拠する。
- 3) プログラムの改善・改良
基幹病院の統括責任者と連携施設の指導責任者による委員会にて定期的にプログラム内容について討議し、継続的な改良を実施する。
- 4) FDの計画・実施
年1回、プログラム管理委員会が主導し各施設における研修状況を評価する。

(別紙) ローテーションモデル



(実際の例)



医療法人浜江堂 油山病院 年間スケジュール

4月	オリエンテーション
5月	福岡精神科集談会参加
6月	日本精神神経学会参加
7月	福岡精神科集談会参加
8月	
9月	福岡精神科集談会参加
10月	
11月	
12月	九州精神神経学会・九州精神医療学会参加 日本認知症学会 学術集会 (任意)
1月	福岡精神科集談会参加
2月	
3月	福岡精神科集談会参加
その他	法人学習会 (月 1回)参加 法人学会 (年 1回)参加 あけぼの会 (家族会) (年 4回)

医療法人浜江堂 油山病院 週間スケジュール

曜 日	時 間	事 項
月曜日	AM 8:30	全体ミーティング 病棟 部署報告、受入検討等)
	AM 9:00	外来診療 再来)
	PM 13:30	入院診療 急性期病棟)
火曜日	AM 8:30	全体ミーティング 病棟 部署報告、受入検討等)
	AM 9:00	外来診療 再来)
	PM 13:30	入院診療 (精神療養病棟)
水曜日	AM 8:30	全体ミーティング 病棟 部署報告、受入検討等)
	AM 9:00	外来診療 新患)
	PM 13:30	入院診療
木曜日	AM 8:30	全体ミーティング 病棟 部署報告、受入検討等)
	AM 9:00	精神科デイケア
	PM 13:30	入院診療 隔離回診)
	PM 17:00	当直
金曜日	AM 8:30	全体ミーティング 病棟 部署報告、受入検討等)
	AM 9:00	外来診療 再来)
	PM 12:30	医局会議 (カンファレンス)
	PM 13:30	入院診療

甘木病院 年間スケジュール

4月	オリエンテーション
5月	福岡集談会へ参加
6月	日本精神神経学会へ参加
7月	
8月	
9月	上期半年の評価と反省 福岡集談会へ参加
10月	
11月	九州精神神経学会へ参加
12月	
1月	
2月	福岡集談会へ参加
3月	後期半年の評価と反省

甘木病院 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8:30-9:00	朝 礼 医局会		研修日		
9:00-12:00	病 棟	外 来		病 棟	外 来
13:00-16:00	病 棟	病 棟		病 棟	病 棟
16:00-18:00				病棟カンファ	
18:00-20:00	当 直				

飯塚記念病院 年間スケジュール

4月	福岡精神科救急病棟医療研究会参加 筑豊精神科集談会参加、症例検討会、心の健康相談
5月	筑豊精神科集談会参加 症例検討会、心の健康相談
6月	日本精神神経学会学術総会参加 福岡県精神科救急病棟医療学術講演会参加 老年精神医学会参加 筑豊精神科集談会参加、症例検討会、心の健康相談
7月	認知症研修会（市民向け） 筑豊精神科集談会参加、症例検討会、心の健康相談
8月	筑豊精神科集談会参加 症例検討会、心の健康相談
9月	認知症地域医療連携協議会 筑豊精神科集談会参加、症例検討会、心の健康相談
10月	日本精神科救急学会参加 認知症研修会（専門職向け） 筑豊精神科集談会参加、症例検討会、心の健康相談
11月	筑豊精神科集談会参加 症例検討会、心の健康相談
12月	筑豊精神科集談会参加 症例検討会、心の健康相談
1月	筑豊精神科集談会参加 症例検討会、心の健康相談
2月	認知症研修会（専門職向け） 認知症地域医療連携協議会 筑豊精神科集談会参加、症例検討会、心の健康相談
3月	認知症研修会（市民向け） 筑豊精神科集談会参加、症例検討会、心の健康相談

飯塚記念病院 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8:30-9:00	外来業務	診療連携会議	外来業務	病棟業務	病棟業務
9:00-12:00	外来業務	医局会	外来業務	病棟業務	病棟業務
13:00-16:00	病棟業務	病棟カンファ	病棟業務	病棟業務	病棟業務
16:00-18:00	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務
18:00-20:00					

年間スケジュール

医療法人有隣会 伊敷病院

4 月	オリエンテーション
5 月	サイコセラピー研究会
6 月	日本精神神経学会学術総会参加 神田橋先生公開スーパービジョン参加
7 月	地方精神神経学会参加 サイコセラピー研究会 事例発表
8 月	
9 月	サイコセラピー研究会
10 月	
11 月	サイコセラピー研究会
12 月	地方精神神経学会参加 演題発表
1 月	サイコセラピー研究会 事例発表
2 月	
3 月	研修プログラム評価報告書の作成 サイコセラピー研究会

週間スケジュール

医療法人有隣会 伊敷病院

	月	火	水	木	金
8:20~8:40	朝カンファ	朝カンファ	朝カンファ	朝カンファ	朝カンファ
8:40~9:30	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務
9:30~12:00	外来業務	往診	外来業務	病棟業務	外来業務
13:00~13:30			医局会 又は 読書会		
13:30~17:10	病棟業務	病棟業務	集団療法	往診	病棟業務
17:10~17:30	タカンファ	タカンファ	タカンファ	タカンファ	タカンファ
17:30~18:30	個人 スーパービジョン	論文輪読会 又は 講義	全体勉強会	個人 スーパービジョン	対話精神療法 セミナー

いぬお病院 年間スケジュール

4月	オリエンテーション
5月	福岡精神科集談会参加
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	日本うつ病学会参加
8月	
9月	
10月	
11月	九州精神神経学会参加・演題発表
12月	
1月	福岡精神科集談会参加
2月	
3月	

いぬお病院 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8:30-9:00	連絡会議	連絡会議	連絡会議	連絡会議	連絡会議
9:00-12:00	外来業務	外来業務	外来業務	外来業務	外来業務
13:00-16:00	作業療法業務	デイケア業務	作業療法業務	デイケア業務	病棟業務
16:00-18:00	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務
18:00-20:00					

西海病院 年間スケジュール

4月	新人教育セミナー①
5月	新人教育セミナー②
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	デイケア教育キャンプ 県かかりつけ医と精神科医のうつ病ネットワーク講演会開催
8月	県精神保健相談開催
9月	日精協学術研修会参加
10月	地域医療福祉合同研修会参加
11月	九州集団療法研究会参加・演題発表 九州精神神経学会参加
12月	
1月	県かかりつけ医と精神科医のうつ病ネットワーク講演会開催
2月	地域医療福祉合同講演会参加 長崎県精神科リハビリテーション研究会参加・演題発表
3月	研修プログラム評価報告書作成 県精神保健相談開催

西海病院 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
9:00~9:20	朝 カンファレンス	朝 カンファレンス	朝 カンファレンス	朝 カンファレンス	朝 カンファレンス
9:30~12:00	・外来診療 (初診・再診) ・病棟診療	・外来診療 (初診・再診) ・病棟診療	・外来診療 (初診・再診) ・病棟診療	・外来診療 (初診・再診) ・病棟診療	・外来診療 (初診・再診) ・病棟診療
13:00~16:30	・外来診療 (初診・再診) ・病棟診療 ・ストレスケア病棟 カンファレンス	・外来診療 (初診・再診) ・病棟診療	・外来診療 (初診・再診) ・病棟診療 ・一般病棟 カンファレンス	・外来診療 (初診・再診) ・病棟診療 ・市精神保健相談 開催(月1回) ・精神医学セミナー	・外来診療 (初診・再診) ・病棟診療
16:30~17:00	夕 カンファレンス	夕 カンファレンス ・リハビリチーム カンファレンス	夕 カンファレンス	夕 カンファレンス ・リハビリチーム カンファレンス	夕 カンファレンス

白石保養院 年間スケジュール

4月	
5月	佐賀精神科集談会
6月	日本精神神経学会総会参加
7月	
8月	佐賀精神科集談会
9月	
10月	
11月	九州精神神経学会参加
12月	佐賀精神科集談会
1月	
2月	
3月	佐賀精神科集談会
	その他、医師会が開催する「医療倫理」「感染対策」「医療安全」の各研修に参加する

白石保養院 週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土
午前	外来業務	デイケア業務	自己学習	外来業務	閉鎖病棟業務	外来業務
午後	開放病棟業務	デイケア業務		老人病棟業務	閉鎖病棟業務	
				デイケアカンファ(第3週)		
				OTカンファ(第4週)		
5時以降	入退院カンファレンス 医局会					外来ケースカンファ(第2週)

晴明病院 年間スケジュール

4月	オリエンテーション 前年研修報告書提出
5月	福岡精神科集談会に参加
6月	日本精神神経学会総会に参加、日本老年医学会（任意）
7月	日本うつ病学会（任意）
8月	
9月	福岡精神科集談会に参加、日本生物学的精神医学会（任意）
10月	研修中間報告書提出 日本認知行動療法学会（任意）
11月	九州精神神経学会に参加
12月	
1月	福岡精神科集談会に参加
2月	
3月	研修報告書 研修プログラム評価報告書 日本統合失調症学会（任意）

晴明病院 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	外来診察	病棟診察	外来診察	病棟診察	外来診察
午後	病棟診察		病棟診察		病棟症例カンファ レンス 病棟診察
	医局抄読会 症例検討会				指導医によるスー パービジョン

福岡県立精神医療センター太宰府病院 年間スケジュール

4月	新入職者オリエンテーション（医療安全教育、保険診療等）
5月	福岡精神科集談会参加
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	
8月	
9月	
10月	日本精神科救急学会参加・演題提出 福岡精神科集談会開催
11月	
12月	九州精神神経学会参加・演題提出
1月	
2月	
3月	

福岡県立精神医療センター太宰府病院 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8:30-9:00	外来診察	外来診察	外来診察	外来診察	外来診察
9:00-12:00	外来診察・病棟業務	外来診察・病棟業務	外来診察・病棟業務	外来診察・病棟業務	外来診察・病棟業務
13:00-16:00	薬物研修会	病棟業務 研修医講義	病棟業務	病棟業務 研修医講義	医局会 入退院カンファレンス
16:00-18:00	司法精神医学等研究会	病棟業務	病棟業務 研修医講義	病棟業務	レジデントカンファレンス
18:00-20:00					

たろうクリニック

年間スケジュール

一年を通して訪問診療を行っています。

重度認知症デイケアでは、節分や七夕、クリスマス会など季節ごとの行事も行っています。

週間スケジュール

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
AM 0900-1200	訪問診療	訪問診療	デイケア	訪問診療	外来	休診	休診
PM 1300-1800	訪問診療	外来	デイケア	訪問診療	外来	休診	休診

天神心療クリニック

1. 年間スケジュール

- 1) 平成 28 年 4 月 1 日から開始する
- 2) 学会・研修会参加
2016 年 6 月 2 日～6 月 4 日 第 112 回日本精神神経学会学術総会
2016 年 10 月 13 日～10 月 14 日 日本デイケア学会第 21 回年次大会

2016 年 6 月 11 日～6 月 12 日 日本精神科診療所協会第 22 回学術研究会

2. 週間スケジュール

- 1) 外来診察 月曜日 金曜日
外来新患の診断 検査依頼
- 2) 作業系デイケアへの参加
月曜日午前 火曜日午前
- 3) 認知行動療法デイケアへの参加
月曜日午後 アサーション
水曜日午前 集団認知行動療法 行動活性化プログラム
木曜日午前 集団認知行動療法 自尊心を取り戻すプログラム
- 4) 運動系デイケアへの参加
火曜日午後 木曜日午後 金曜日午前

田川慈恵病院

年間プログラム

4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会参加
7月	
8月	
9月	
10月	
11月	九州精神神経学会参加
12月	
1月	
2月	研究報告会
3月	

週間プログラム

	月	火	水	木	金
午前	病棟診察	病棟診察	外来診察（予診）	病棟診察	外来診察（予診）
午後	医局会 施設往診同行	症例カンファレンス	病棟診察	自己学習	施設往診同行
17時以降	筑豊精神科集談会（月1回）		研修会		

パークサイドこころの発達クリニック

【週間プログラム】

	月	火	水	木	金
9:00～12:00	外来診療 (再来)	外来診療 (新患)	外来診療 (再来)	外来診療 (再来)	外来診療 (再来)
14:00～18:00	グループ療育	外来診療 (新患)	外来診療 (再来)	外来診療 (再来)	児童福祉連携

【年間プログラム】

4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本小児精神神経学会参加(任意)、日本精神神経学会参加(任意)、大手門発達研究会
7月	
8月	大手門発達研究会
9月	
10月	日本児童青年精神医学会参加(任意)、LD学会参加(任意)、大手門発達研究会
11月	
12月	大手門発達研究会
1月	
2月	大手門発達研究会
3月	総括的評価

○医療法人日明会 日明病院

4月	オリエンテーション 春季特別研修プログラム参加
5月	福岡県精神科集談会参加 北九州市精神科集談会参加
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	北九州市精神科集談会参加
8月	
9月	福岡県精神科集談会参加 北九州市精神科集談会参加
10月	北九州市精神科集談会参加 日本精神科救急学会学術総会
11月	九州精神神経学会 演題発表 北九州市精神科集談会参加
12月	北九州市精神科集談会参加
1月	福岡県精神科集談会参加
2月	北九州市精神科集談会参加
3月	研修プログラム評価報告書作成

○医療法人日明会 日明病院

	月	火	水	木	金
9:00～12:00	外来新患担当	外来再来担当	病棟業務	基幹病院研修	病棟業務
13:00～16:00	外来新患担当	外来再来担当	病棟業務		病棟業務
16:00～17:00	病棟業務	医局会	各種カンファレンス		
17:00～	院内セミナー				

肥前精神医療センター 年間スケジュール

年間スケジュール	
4月	新入医局員 研修医オリエンテーション CRAFT 依存症家族支援)研修 母さんの学習室)第一期開催
5月	
6月	新入医局員 研修医オリエンテーション CVPPP 包括的暴力防止プログラム)研修 BLS講習会 日本精神神経学会学術総会参加 日本司法精神医学会参加 日本老年精神医学会参加 医療安全研修会
7月	精神看護研修 プリフインターベンション&HAPPYプログラム研修会 国立病院機構精神科レジデントフォーラム参加 佐賀県精神科集談会参加 精神保健福祉法及び行動制限最小化に伴う研修会
8月	新入医局員 研修医オリエンテーション
9月	佐賀大学医学部アーリーエクスポージャー 母さんの学習室)第二期開催 医療安全研修会
10月	新入医局員 研修医オリエンテーション 佐賀県精神科集談会参加 肥前精神医学セミナー CVPPP 包括的暴力防止プログラム)研修 CVPPP 包括的暴力防止プログラム)研修 (フォローアップコース) BLS講習会 日本児童青年精神医学会参加 アルコール・薬物依存関連学会参加 院内感染対策研修会 虐待防止研修会
11月	医師採用面接 認知症ケア研修 九州精神神経学会参加 国立病院総合医学会参加 日本臨床神経生理学会参加 DPAI研修会
12月	新入医局員 研修医オリエンテーション 医師採用面接 アルコール 薬物関連問題研修 佐賀県精神科集談会参加 院内感染対策研修会
1月	全国児童青年精神科医療施設協議会参加
2月	新入医局員 研修医オリエンテーション 医師採用面接 司法精神医学研修 CVPPP 包括的暴力防止プログラム)研修 認知症かかりつけ医研修会 BLS講習会 医療倫理研修 佐賀県かかりつけ医認知症対応力向上研修会 精神保健福祉法及び行動制限最小化に伴う研修会 メンタルヘルス研修 向精神薬フォーラム in SAGA 参加
3月	佐賀県精神科集談会参加 九州地区重症心身障害研究会参加
その他	肥前セミナー 年数回) 先端精神医学セミナー 年数回) 国立病院機構精神医学講義 (基礎講座、応用講座) 週1回) モーニングカンファレンス 週1回) 認知症多職種勉強会 月2回) 児童グループモーニングカンファレンス 週1回) アルコール薬物関連問題勉強会 (ひみこクラブ) 月1回) BI (プリフインターベンション)&HAPPY勉強会 月1回) 統合失調症家族教室 月1回) 刑事鑑定カンファレンス (随時) 佐賀大学臨床実習 (隔週) 九州大学クリニカルクラークシップ 年1~2回)

肥前精神医療センター

	月	火	水	木	金
8:30-9:00	児童グループモーニングカンファレンス 毎週)				モーニングカンファレンス
9:00-12:00	病棟診療	外来診療 再来)	統括診療部長教育回診 月2回) 病棟診療	院長回診 毎週) 病棟診療	外来診療 (新患予診)
			アルコールリハビリテーションプログラム 発達障害児のペアレントトレーニング (お母さんの学習室)		
12:00-13:00					国立病院機構精神医学講義 (基礎講座、応用講座)
13:00-17:30	病棟診療 医師養成研修センター長教育回診 月2回)	病棟診療 ECT	病棟診療 医局会 毎週) 新入院報告会 毎週) チームミーティング 月1回) 症例検討会 月1回) 黒木九州大学教授教育回診 月2回) 脳波判読会 毎週) 救急病棟多職種カンファレンス 毎週) 先端精神医学セミナー 不定期)	病棟診療 褥瘡回診 月1回)	病棟診療 ECT
17:30-20:00	アルコール薬物関連問題勉強会 ひみこクラブ 月1回)		認知症多職種勉強会 月2回) アルコール薬物関連問題勉強会 B1&HAPPY勉強会 月1回)		肥前セミナー 不定期)

福間病院 年間スケジュール

4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会
7月	福間病院医局同門会 日本うつ病学会
8月	
9月	日本デイケア学会年次大会
10月	ポートフォリオ面談での形成的評価 日本精神科救急学会学術総会
11月	九州精神神経学会（演題発表が望ましい）
12月	福間病院幹部連絡協議会
1月	福間病院骨休め会（関連病院幹部との懇親会）
2月	総括的評価
3月	研修プログラム評価報告書作成 福間病院精神科専攻医研究発表会（必須）

福間病院 週間スケジュール

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
8：30～8：45	全体朝礼	医局朝礼 病棟等申送り	医局朝礼 病棟等申送り	医局朝礼 病棟等申送り	医局朝礼 病棟等申送り
8：45～10：30	病棟業務 (救急病棟)	病棟業務 (救急病棟)	病棟業務 (救急病棟)	病棟回診 (救急病棟)	病棟業務 (救急病棟)
10：30～12：00	病棟業務 (救急病棟)	臨床指導 (面接陪席)	病棟業務 (救急病棟)	病棟回診 (救急病棟)	病棟業務 (救急病棟)
12：00～12：50	昼休み (抄読会)	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み
12：50～15：00	病棟業務 (救急病棟)	病棟業務 (救急病棟)	病棟業務 (救急病棟)	病棟業務 (救急病棟)	病棟業務 (救急病棟)
15：00～16：00	病棟業務 (救急病棟)	医局集談会 (症例検討会)	臨床指導 (面接技法等)	病棟業務 (救急病棟)	病棟業務 (救急病棟)
16：00～17：00	病棟業務 (救急病棟)	医局会・ 病院全体会議	自己学習	病棟業務 (救急病棟)	病棟業務 (救急病棟)
17：00～ 翌8：45				救急当直 (約1回/ 月)	

- 1) 週に2日程度、デイケア業務を担当する曜日が存在。
- 2) 病棟業務に慣熟した後、指導医の新患外来陪席（予診含む）を開始する。
- 3) 外来（再来）は病棟で自ら担当した患者のフォローを行うことから開始する（半日／週）。

医療法人恵愛会 防府保養院 年間スケジュール

4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会
7月	日本精神科病院協会山口県支部学術研修会
8月	
9月	山口県精神科病院協会学術研修会
10月	院内研究発表会
11月	中四国精神神経学会
12月	
1月	
2月	防府地域精神保健研修会
3月	

その他

山口県うつ病研究会 (年2~3回)

山口県臨床学術研修会 (年2~3回)

環境保健所との事例検討会 (年1~2回)

医療法人恵愛会 防府保養院 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8 : 3 0 ~ 9 : 0 0	朝カンファ	朝カンファ	朝カンファ	朝カンファ	朝カンファ
9 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0	病棟業務	病棟業務	院長回診	外来業務	病棟業務
1 3 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0	病棟業務	院長回診	病棟業務	デイケア研 修	病棟業務
1 6 : 0 0 ~ 1 6 : 3 0	タカンファ	タカンファ	タカンファ	タカンファ	タカンファ

松尾病院 年間スケジュール

4月	オリエンテーション
5月	北九州精神科集談会参加
6月	日本精神神経学会学術総会参加(交代参加)
7月	北九州精神科集談会参加 4病院勉強会
8月	北九州精神科集談会参加 日本精神科病院協会医療安全管理者研修会
9月	日本神経精神医学会参加(任意) 4病院勉強会
10月	日本アルコール・アディクション医学会参加(任意) 日本精神科救急学会学術総会参加(任意)
11月	日本精神科医学会学術大会(任意) 4病院勉強会
12月	日本認知症学会学術集会参加(任意) 九州精神神経学会参加(交代参加)
1月	北九州精神科集談会参加 院内研究発表会
2月	北九州精神科集談会参加 4病院勉強会
3月	ケースレポート作成 研修プログラム管理委員会開催

※ 4病院勉強会；行橋記念病院・行橋厚生病院・南ヶ丘病院と当院で行っている症例を中心とした勉強会

松尾病院 週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土
8:30-9:00	輪読会 (第2月曜は 全体朝礼)					
9:00-12:00	新患予診 病棟回診	再来担当	再来担当	※デイケア ※SST/BCT	※アルコール依存症講義 ※田代名誉教授外来陪席	
13:00-16:00	新患予診 病棟回診	再来担当 病棟回診	※断酒会または統合失調症疾患教育グループ ※病棟回診	病棟回診 2か月間は訪問看護同行	田代名誉教授外来陪席 病棟回診	家族教室 統合失調症 アルコール依存症 各月1回
16:00-18:00			急性期病棟カンファ		※多職種による症例検討 ※抄読会	
18:00-20:00						

水戸病院 年間スケジュール

4月	
5月	
6月	日本精神神経学会総会参加 デイ・ケア研究協議会ふくおか参加
7月	
8月	
9月	日本認知症学会参加
10月	日本デイケア学会参加
11月	デイ・ケア研究協議会ふくおか参加
12月	九州精神神経学会参加
1月	福岡精神科集談会参加
2月	
3月	医師会認知症講演会参加
	その他、医師会が開催する「医療倫理」「感染対策」 「医療安全」の各研修に参加する

水戸病院 週刊スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	外来初診 (予診・陪席)	外来再診	訪問診療など 地域医療	病棟診療	外来初診 (予診・陪席)
午後	病棟診療	病棟診療	指導医による レクチャー	病棟診療 他連携施設 への見学等	ケースカンファ レンス 病棟診療

若久病院 年間スケジュール

4月	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・研修開始 ・前年研修報告書提出 ・指導医の指導実績報告提出 ・研修医研修医のグラウンドラウンド（毎月実施） ・院内全体症例検討会参加（毎月開催）
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡精神科集団会参加 ・急性期病棟家族心理教育参加
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・日本精神神経学会学術総会参加 ・病院家族会参加 ・日本老年医学会参加（任意）
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・日本うつ病学会参加（任意）
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・急性期病棟家族心理教育参加 ・九州地区 11 大学合同研修会（任意）
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡精神科集団会参加 ・日本生物学的精神医学会（任意）
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・研修中間報告書提出 ・日本児童青年医学会参加（任意） ・日本認知症・行動療法学会参加（任意）
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・九州精神神経学会参加 ・急性期病棟家族心理教育参加
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・研修プログラム管理委員会開催 ・病院忘年会参加
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・若久集談会参加（演題発表） ・福岡精神科集談会参加 ・医局新年会参加
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・急性期病棟家族心理教育参加
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・研修報告書 ・研修プログラム評価報告書の作成 ・日本統合失調症学会（任意）

若久病院 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8:30-9:00	病棟カンファレンス	病棟カンファレンス	病棟カンファレンス	病棟カンファレンス	病棟カンファレンス
9:00-12:30	外来診療・予診 病棟業務	外来診療・予診 病棟業務	外来診療・予診 病棟業務	外来診療・予診 病棟業務	外来診療・予診 病棟業務
13:30-17:00	九州中央病院 リエゾン or デイ・ケア、S S T	病棟業務 音楽療法 訪問看護	医局会 症例検討会 病棟業務	病棟業務 デイ・ケア 訪問看護	病棟業務 音楽療法
17:00-19:00	指導医、先輩 医師との ディスカッション	精神医学を問う (不定期)	行動療法勉強会 (不定期)	精神療法症例 検討会	指導医、先輩 医師との ディスカッション

※いずれの施設においても、就業時間が 40 時間/週を超える場合は、専攻医との合意の上で実施される。原則として、40 時間/週を超えるスケジュールについては自由参加とする。